

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902587		
法人名	有限会社オフィスモリヤマ		
事業所名	グループホーム花 Aユニット		
所在地	北海道旭川市春光台2条6丁目1-11		
自己評価作成日	平成26年10月1日	評価結果市町村受理日	平成27年3月19日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kan=true&JigyosyoCd=0172902587-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジエント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成27年3月18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながりを大切にしている。 ・畑の作物で成長と収穫し調理して楽しみを味わっている。 ・果樹木が有り、四季を楽しんでいる。 ・施設の行事と地域の催し物に多く参加する事を取り入れて楽しんでいる。 ・入居者様は、出入りや外出は自由に出来過ごして。 ・入居者様と職員で施設の掃除を行い綺麗な施設と環境作りを目標として取り組んでいる。 ・広いテラスに季節に合った鳥達が来て自然環境を作っている。 ・質の良いケアを目指し取り組んでいる。 ・広い敷地に沢山のベンチとテーブルが備えられてあり自由に過ごしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p><地域とのつきあい> 地元の女子高校で「認知症サポーター養成講座」の講師を務めたり、町内のフラワーロードで花ポットの移植や町内の廃品回収、ごみ拾い等の行事参加、女子高生や高校生、町内会のボランティアの協力を得て事業所主催の「夏祭り」や「収穫祭」を開催して、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、日常的に交流促進に努めている。</p> <p><楽しみごとへの支援> 家族会と協力して、敬老会や収穫祭等の開催、クリスマス会や夏祭りでは高校生や幼稚園児との交流、初詣や神社祭見物、地域社会福祉協議会主催のクリスマス会やフェスティバル等の行事参加、プロの職人の出前出張でお寿司の会を催すなど張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かしなが楽しみごとや気分転換等の支援をしている。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

Aユニット

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・年一回理念についての勉強会を開き、指針を明確化するとともに、前年度の評価を行い次年度につなげている。また、理念を基にした各自の目標や取り組みも明確にしている。 ・朝夕の申し送り等で理念を読み上げ、全ての職員が理念を身近なものとして感じられる機会を作っている。 	理念達成の為に職員個々の具体的な目標を掲げ、気づきや振り返る機会を作り、その達成度を判定しながら理念の実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の役員を務め、会議や行事へ参加しながら互いの意見の交換の場を作っている。 ・花主催の夏祭りでは、町内会や近隣の高校生のボランティアの方々がたくさんお手伝いをして頂いている。 ・入居者様やスタッフは、地域のお祭り等に積極的に参加して交流の場を作っている。 ・運営推進会議の開催や地域へのボランティア参加により、入居者様やスタッフが、地域の方々と交流を図っている。 	地元の女子高校で「認知症サポーター養成講座」の講師を務めたり、町内のフラワーロードで花ポットの移植や町内の廃品回収、ごみ拾い等の行事参加、女子高生徒や高校生、町内会のボランティアの協力を得て事業所主催の「夏祭り」や「収穫祭」を開催して、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、日常的に交流促進に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高等学校に、認知症や介護についての勉強会を開催している。 ・地域の皆さんからの施設選びや認知症対応についての相談を受けている。 ・地域の認知症住民のサポートに取り組んでいる。 		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・事故、ヒヤリハット報告、家族からの苦情などを運営推進会議に報告して意見を頂き、サービス向上に努めている。 ・運営推進会議の開催することにより、地域行事(フラワーロード事業、地域のお祭り等)への参加しやすい環境を整えている。 	運営推進会議を年6回開催し、地域との連携や事業所の取り組み状況、認知症の啓発など具体的内容について話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・市に対して、分からない点、疑問点を放置せず、都度確認しながらコンプライアンスの維持に努めている。 ・市や道に対する報告事項も適正に行なっている 	市担当者、包括支援センターとは、研修会参加や報告・助言等を得ながら情報交換を行い、協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・花の方針として身体拘束は行わない。 ・身体拘束の外部研修への参加や施設内での勉強会を行い、身体拘束について考えたり話し合ったりする機会を作っている。 ・夜間以外は玄関の鍵をかけることはなく、入居者様が外に出たい時は職員と一緒に出ている。 	外部研修参加や内部研修開催で指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内での勉強会を行い、身体拘束について考えたり話し合ったりする機会をもうけている。 ・精神面のフォローとして、役席によるスタッフへのカウンセリングを行っている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・必要性が認められる入居者様には、関係者と話し合い、後見人を選任していただいている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約は、十分な時間を取り説明を行っている。その後についても施設とご家族様が互いに話しやすい環境提供に努め、疑問点については都度説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・家族会があり、家族会主催の行事(苗植えの会)を開催して、準備の段階を含めてご家族様とスタッフとの親交が図られており、話しやすい環境を作る努力をしている。 ・家族会総会を毎回『花のクリスマス会』同日に行い、苦情、事故、行事等の報告や要望を聞き対応するとともに、親交も図っている。 ・定期的に行なわれている運営推進会議に、入居者様とご家族様にも参加していただき、意見をいただいている。 ・日常生活で入居者様の不満苦情の言いやすい環境に気を配っている。 ・ご家族様に対し、ケアプラン更新時に書面にて苦情要望等の情報を収集して対応している。	家族や来訪者等が意見や苦情等を言い表せるように苦情受付窓口の掲示や第三者への連絡先を明示している。また、家族会との協力関係が構築されていたり、毎月「花だより」の発行や個別に近況報告・健康状態等の情報を提供し、意見や要望等を言い表せる機会を設けている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎日朝夕の申し送り時や、全体会議やユニット会議等で、職員の意見を聞き、業務に反映している。	全体会議やユニット会議、日常業務等を通じて意見や要望、提案を聞くよう機会を設け、そこでの意見や提案を運営に反映できるように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・キャリアパス制度を導入するとともに、毎年10月に職員の昇給昇格を行っている。 ・職員に対して、内外の研修に積極的に参加できる機会を作っている。 ・資格試験の合格者に対して報奨金を与え、全体会議で表彰している。また資格手当を支給している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・役員会議、全体会議、事例検討会、内部研修を毎月開き、内部研修では外部から講師を招いたりしながら研修を重ねている。また、外部研修も積極的に参加している。 ・代表者が運営に参加し、職員の状況把握に努め、レベル向上に取り組んでいる。 ・資格試験の合格者に対して表彰を行い、合わせて報奨金を与え意欲向上を図っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・他グループホームの運営推進会議に出席し意見交換の場を設けている。 ・外部研修会を通じ、他施設との交流を図っている。 ・お祭りなどの行事を通じて他のグループホームとの交流をしている。 ・職員は、年に一度先進的なグループホームへの視察があり、自分たちのケアの質や取り組み姿勢について考える機会がある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入居前の面談でご本人様の身体、生活状況、既往歴等の確認と困っていること、不安なこと、要望等を聞き、自宅への訪問や見学を通じて、状態の把握と信頼関係の構築に努力している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・入居される本人面談以外にも必要に応じ家族面談の時間を作り、ご家族様の希望、困っていること、不安なこと、要望等を聞いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・本人の置かれている状況を最優先に鑑み、状況に応じて迅速な入居をおこなったり、他の適切なサービスの勧めをしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・掃除、洗濯たたみ、洗濯干し、調理、買い物、散歩、苗作り、収穫、草取りや食事を一緒に食べる等で日常生活を一緒に関わることで互いに歩み寄って良い関係を築けている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・夏祭り、クリスマス会、家族会主催の畑の苗植えなどの行事が多くあり、参加率も非常に高いので家族との親交を図る機会も多くある。 ・毎月発行している通信や来訪時の状況説明をしている。また必要に応じて電話で報告や連絡をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・入居以前の馴染みの関係は、年賀状や電話等で関係が途切れることのない様に支援に努めている。 ・花に入居後、町内活動参加(花見、フラワーロード事業、花での行事等)で築いてきた馴染みの関係を継続できるように、本人とスタッフが共に心掛けている。 ・外出などでご家族様に協力いただき、買物や外食、美容室、墓参りなどを定期的にされている。	事業所主催の収穫祭や夏祭り等を開催して、地元の人々や家族、高校生ボランティアとの交流や地域のフラワーロードへの参加や地元社会福祉協議会主催の行事参加、お墓参りや初詣など馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・入居者様の性格や行動で座る席を考えて入居者様同士が関わり合える関係になる様に努めている。 ・入居者様同士で食事の下膳や、新聞や雑誌などを回して見る、各テーブルの上の花の水の交換を毎朝行っている等の光景が見られ、感謝の言葉をよく耳にする環境が出来ている。 ・炊事、洗濯、掃除、畑作業で日常生活を一緒に関わることで、入居者様同士の支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・長期入院で退去したり、亡くなったりした利用者様のご家族様と交流があり、花にお茶を飲みに来たり、ウエスなどを寄贈していただいたりするなど、とても良い関係を保っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・ご本人様に聞いたり、ご家族様からの情報収集を行い、スタッフの観察や気づきを職員間で共有し、ご本人様の思いや暮らし方の希望、把握に努めている。	アセスメントの実施や生活歴の把握、介護記録で職員間で情報を共有しながら一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・個人情報のファイルの把握と職員間での情報の共有に努めている。 ・来訪時、ご家族様に改めて生活歴、既往歴などの情報収集することもある。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活状況、毎日のバイタル測定、水分摂取量、排泄等により、体調や精神面の把握に努めている。またスタッフ間で情報の共有を図り、チームケアに努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ご本人様の日常の状況の観察と困っていることの要望を聞き、ご家族様からの意見も聞いている。 ・職員にモニタリングを行い、その情報を基にしてミーティングやカンファレンスを行っている。またその結果を介護計画に活かしている。	本人、家族の意見や要望、医師、看護師からの指導や助言、カンファレンスやモニタリングを通じて職員の意見やアイデアを反映して現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・入居者様の日常生活の様子やケアの実践等の記録記入は出来ている。 ・センター方式も使いながら、職員間で情報の共有や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・旬の行事を数多く行い、外出する機会も取り入れられている。 ・入居者様の身体能力や認知能力に合わせて、料理、洗濯、掃除、買い物などをスタッフと共に行っている。 ・ボランティアや地域資源を生かした取り組みに努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・近所の商店に買い物に行ったり、近くの神社や公園を利用して楽しみを広げるよう努めている。 ・地域のお祭りに積極的に参加して入居者スタッフ共に楽しんでいる。 ・困った事があれば、地域の民生委員、地区社協、地域包括支援センター、町内会の方々に気軽に相談している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・ご本人様とご家族様の希望に合わせて、かかりつけ医を選択している。 ・定期往診や受診の他、電話での情報共有でかかりつけ医と相談や医療を受けることがいつでも出来る様に支援している。	本人・家族の希望するかかりつけ医となっている。また、往診や訪問看護の利用、常勤看護師との連携及び日常の健康管理、通院への対応等で適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医の訪問受診の他、週一回の訪問看護師に入居者様の日常の様子や身体状況等について伝え、スムーズに往診が受けられる様に努めている。 ・職員にも看護師がいる。 		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人様の状況等を入院先に伝え、適切な治療が出来る様に支援している。 ・入院によるダメージ等を少なくするために早期退院について医師と話し合っている。また入院期間中は病院関係者と情報交換を行い、早期に入居者様を受け入れることが出来る様努めている。 ・退院時に注意事項等を引き継ぎ、職員間で共有してケアに反映している。 		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化する前に、ご家族様とかかりつけ医、グループホームが終末期のあり方について方針を話し合い決めている。また、方針を職員とも共有して支援に取り組んでいる。 ・重度化した時には、適時ご家族様と話し合いの機会を作っている。 	<p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族と話し合い、事業所ができることを十分に説明しながら、ターミナルケアを実践してチームで取り組んでいる。</p>	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急マニュアルが所定の場所に設置しており、全ての職員が実践対応出来ている。 ・内部研修で対応方法の確認で実践力に身に付けてきている。 		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に付けるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・日中想定避難訓練を春秋一度づつ行い、地域の方にも参加していただいている。またこのとき消防設備業者に来ていただき、設備点検と職員に対しての設備仕様説明を行い、勤務者全員が火災報知機の作動させたり、消火器による消火訓練を行っている。 ・夜間想定火災避難訓練を何度も行い、全ての職員が夜間対応の訓練を行っている。 	<p>消防署や消防設備業者、地域の協力を得ながら、昼夜を想定した火災避難訓練を年9回実施し、スプリンクラーや報知器等の設備を完備している。また、避難場所も確保している。</p>	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・1人ひとりに合わせての言葉かけや声のトーンを意識しているが、慣れからか親しみある言葉を使うことがある。 ・誇りやプライバシー、羞恥心に配慮に不十分なこともある。 	<p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように身体拘束廃止や虐待防止等の内部研修で職員間で周知している。</p>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人様の思いや希望を聞いて、選択出来る様に働きかけ、決定出来る様な雰囲気作りを努めている。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の食事時間は決まっているが、職員の都合を優先することなく、体調や気持ちに沿って1人ひとりのペースに合わせて対応している。また、入浴時間帯も決まっているが、順番やお湯の温度など出来るだけ本人の希望を入れて生活していただいている。 ・その他にも要望の声があれば出来るだけ希望に沿える様に取り組んでいる。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人様が自由に衣服を選んでいる。困難な方には選択出来る様に対応している。また、衣服の汚れがある時には、すぐ着替えて頂いている。 ・衣替え時期には、衣類の状態の確認等を行っている。 ・毎月の訪問理美容で整髪や毛染めをしながら、気分転換や身だしなみを整えている。 ・行事での外出は必ず身だしなみのチェックをおこない化粧をしている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・食事作りや片付けを入居者様と職員で行い出来る力を活かして頂ける様に努めている。 ・一日の献立が書かれたボードを置き、食事の話題を出し、毎日の楽しみ事になっている。 ・週一度の特食日には献立、買い出し、調理を職員と一緒に実施している。 ・畑の野菜を入居者様と一緒に収穫し、食事の品数も増やして、収穫の喜びと食事の話題で楽しく一緒に過ごしている。 	畑で収穫した野菜で収穫祭を開催したり、お寿司の出張出前の利用や外食など食事が楽しみなものになるよう工夫した取り組みをしている。また、職員と一緒に食材の買い出しや食事の準備、盛り付けや食事や後片付け、配膳などを行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の一日の食事量、水分量の把握はしている。 ・管理栄養士がカロリーや栄養を把握してメニューを作っている。 ・入居者様1人ひとりの状態や体調に合わせて食事量、形態、水分量を決めて支援している。 ・摂取して頂けない時は、スタッフ間で情報の共有して、朝夕の申し送りで話し合い、それぞれが工夫しながら食事を考え提供することもある。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医や外部講師による口腔についての勉強会を行い、スタッフのレベル向上に努めている。 ・1人ひとりにあったケアを行うことに努めているが、拒否があっても毎食後に出来ない入居者様もいる。 ・出来るところまではご本人様の力で磨き、仕上げ磨きを行っている。また、歯の状態によっては、歯間ブラシを使用している。 		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・1人ひとりの排泄パターンを把握するよう努めている。 ・自力での排泄と失禁を減らす為に、排泄の声掛けとトイレ誘導をしている。 	一人ひとりの力や排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・食事、乳製品の提供、水分摂取量、排便状況の把握に努めている。 ・体操や歩く等で体を動かし、便秘予防に努めている。 ・薬剤で調節している入居者様もいる。 		
45	17	○入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴の曜日と時間は決まっているが、週3回の入浴日を設けている。 ・希望の時間浴える様に対応している。体調不良やタイミングの合わなく入浴されなかった時は、翌日に入浴に誘っている。 ・気の合う方同士の入浴や、お湯の温度も希望に沿える様にしている。 	週3回を目安に一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じて入浴支援をしている。また、健康管理や拒否の強い本人にも柔軟な対応をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・昼寝や体調に合わせて休息の時間を作り対応している。 ・夜早く寝られる方や遅くまでテレビを観て起きている方など、入居者様1人ひとりの就寝時間に合わせて支援している。 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・薬の変更や新たに処方になれば必ず記録の記入と申し送りで職員が把握できる様にしている。また、症状の変化の確認に努めている。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・家事、畑作業、遊び等で力を発揮して頂き、気分転換になる様にメリハリをつけて支援している。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域のの人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・週1.2回食事や日用品の買い物に入居者様と一緒に出掛けている。 ・外出する希望があれば付き添っている。 ・地域の活動に参加や行事で外出している。 ・ご家族様の協力も得て出掛けている。 	<p>初詣や神社祭見物、地域のお祭り参加や高校生、幼稚園児との交流、社会福祉協議会主催のクリスマス会等の行事参加で普段は行けないような場所でも出掛けられるように支援している。また、家族会や地域と協力して、収穫祭や夏祭りの開催、買い物や散歩、野菜の収穫などで戸外に出かけられるように支援している。</p>	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・お金を所持している入居者様もおり、スタッフと一緒に近所の店に買い物に出かけている。 ・ホームの買い物の日にスタッフと出掛け、希望があれば買い物もしている。また、デパートで買い物を希望される方にも支援している。 		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも自由に電話が使える。 ・希望があれば電話を掛けたり、促して電話に誘うこともしている。 ・携帯電話を所持している入居者様がいる。 ・手作りの年賀状の作成をして頂き、ご家族様や知人とのやり取りをしている。 		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ホーム内は、リビングも居室も日当たりは良く、気持ち過ごすことが出来る。 ・テーブルの上にはいつも生花が飾られている。 ・廊下には四季を感じる行事の写真が飾られている。 ・外の景色が見渡せる広いベランダで四季を感じることが出来る。 ・毎日空気入れ替えをしている。 ・広い浴室と浴槽でゆったりと入れる様になっている。 	<p>共用空間は、広くゆったりとしていて行事参加の写真の掲示や季節ごとの飾りつけ、生け花や四季を感じられる眺望など生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・リビングのテーブル席など、相性のいい入居者様同士が、気づかいせず過ごせる配置に気を配っている。 ・リビング以外にもテーブルや椅子が設置されていて、自由に使える様にしてある。 		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・使い慣れた家具や思い出の品を居室に置き、入居者様が居心地良く過ごせる様にしている。 ・仏壇も持って来ている方や教会会の方が来られる方もいる。 	<p>居室には、馴染みの家具や寝具、仏壇等が持ち込まれたり、家族の写真が飾られるなど本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・共同空間や廊下、居室のトイレに手すりがあり、床には、滑りにくく衝撃を少ないクッションタイプのフローリングを使っている。 ・身体機能の低下により、状況に合わせて家具の配置を検討し、配置替えをしている 		

目標達成計画

事業所名 グループホーム 花

作成日: 平成 27年 3月 19日

【目標達成計画】 Aユニット

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	42	・1人ひとりにあったケアを行うことに努めているが、拒否があって毎食後に出来ない入居者様もいる。	・認知症をより以上に理解することに努め、ケアが出来ない入居者様がいない状態にする。	・認知症についての学びの場を増やす。 ・拒否で終わらせず、タイミングを見て時間をずらしたり、声掛けやケアを工夫する。	1年
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902587		
法人名	有限会社オフィスモリヤマ		
事業所名	グループホーム花 Bユニット		
所在地	北海道旭川市春光台2条6丁目1-11		
自己評価作成日	平成26年10月1日	評価結果市町村受理日	平成27年3月19日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=0172902587-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジエント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成27年3月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・季節感のある行事の実施 特に春から秋にかけて畑で実りを楽しんで頂いたり、屋外で過ごせるような取組をしている。 ・ご家族様と共に過ごせるような、計画を立て実施している。 ・地域の住民の皆様との交流がもてるように取り組んでいる。(地域のイベントへの参加、フラワーロード活動、町内活動の参加など) ・清潔感のある居住空間になるように、取り組んでいる。 ・入居者様のやりたい想いは、可能な限り叶えられるように取り組んでいる。(帰宅願望への対応など)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64 通い易い場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・年一回理念についての勉強会を開き、指針を明確化するとともに、前年度の評価を行い次年度につなげている。また、理念を基にした各自の目標や取り組みも明確にしている。 ・朝夕の申し送り等で理念を読み上げ、全ての職員が理念を身近なものとして感じられる機会を作っている。 		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の役員を務め、会議や行事へ参加しながら互いの意見の交換の場を作っている。 ・花主催の夏祭りでは、町内会や近隣の高校生のボランティアの方々がたくさんお手伝いをして頂いている。 ・入居者様やスタッフは、地域のお祭り等に積極的に参加して交流の場を作っている。 ・運営推進会議の開催や地域へのボランティア参加により、入居者様やスタッフが、地域の方々との交流を図っている。 		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高等学校に、認知症や介護についての勉強会を開催している。 ・地域の皆さんからの施設選びや認知症対応についての相談を受けている。 ・地域の認知症住民のサポートに取り組んでいる。 		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・事故、ヒヤリハット報告、家族からの苦情などを運営推進会議に報告して意見を頂き、サービス向上に努めている。 ・運営推進会議の開催することにより、地域行事(フラワーロード事業、地域のお祭り等)への参加しやすい環境を整えている。 		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・市に対して、分からない点、疑問点を放置せず、都度確認しながらコンプライアンスの維持に努めている。 ・市や道に対する報告事項も適正に行なっている 		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・花の方針として身体拘束は行わない。 ・身体拘束の外部研修への参加や施設内での勉強会を行い、身体拘束について考えたり話し合ったりする機会を作っている。 ・夜間以外は玄関の鍵をかけることはなく、入居者様が外に出たい時は職員と一緒に出ている。 		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内での勉強会を行い、身体拘束について考えたり話し合ったりする機会をもうけている。 ・精神面のフォローとして、役席によるスタッフへのカウンセリングを行っている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・必要性が認められる入居者様には、関係者と話し合い、後見人を選任していただいている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約は、十分な時間を取り説明を行っている。その後についても施設とご家族様が互いに話しやすい環境提供に努め、疑問点については都度説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・家族会があり、家族会主催の行事(苗植えの会)を開催して、準備の段階を含めてご家族様とスタッフとの親交が図られており、話しやすい環境を作る努力をしている。 ・家族会総会を毎回『花のクリスマス会』同日に行い、苦情、事故、行事等の報告や要望を聞き対応するとともに、親交も図っている。 ・定期的に行なわれている運営推進会議に、入居者様とご家族様にも参加していただき、意見をいただいている。 ・日常生活で入居者様の不満苦情の言いやすい環境に気を配っている。 ・ご家族様に対し、ケアプラン更新時に書面にて苦情要望等の情報を収集して対応している。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎日朝夕の申し送り時や、全体会議やユニット会議等で、職員の意見を聞き、業務に反映している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・キャリアパス制度を導入するとともに、毎年10月に職員の昇給昇格を行っている。 ・職員に対して、内外の研修に積極的に参加できる機会を作っている。 ・資格試験の合格者に対して報奨金を与え、全体会議で表彰している。また資格手当を支給している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・役員会議、全体会議、事例検討会、内部研修を毎月開き、内部研修では外部から講師を招いたりしながら研修を重ねている。また、外部研修も積極的に参加している。 ・代表者が運営に参加し、職員の状況把握に努め、レベル向上に取り組んでいる。 ・資格試験の合格者に対して表彰を行い、合わせて報奨金を与え意欲向上を図っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・他グループホームの運営推進会議に出席し意見交換の場を設けている。 ・外部研修会を通じ、他施設との交流を図っている。 ・お祭りなどの行事を通じて他のグループホームとの交流をしている。 ・職員は、年に一度先進的なグループホームへの視察があり、自分たちのケアの質や取り組み姿勢について考える機会がある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族様や関係者からの情報を踏まえながら、ご本人と関わりを持ち、関係を築くようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様から充分にお話しが聴ける様に、見学や訪問など面談の機会を出来るだけ多く持ち、不安や要望などを聴いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始時には、暫定的に支援内容を挙げ短期間での計画を立て実施し、その中でまた評価をしながらホーム生活を報告し、それに対しての要望を聴きながら、必要な支援サービスを見極められるように取り組んでいる。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・お一人お一人の得意な事、好きな事を活かした場面で一緒に出来ることを行うようにしている。 食事の準備・片付け、掃除、洗濯などの作業 ちぎり絵などの作品づくりなど		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・出来るだけたくさん面会の機会を持って頂ける様に取り組んでいる。ご面会時には、生活の様子やご本人の想いを伝えている。 ・衣替えの季節などには、ご家族様と必要なものの準備について、ご本人を交えて話し合う機会をもっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・可能な限り通院している病院は、継続できるようにしている。 ・電話、面会、年賀状などの機会を大切にしている。 ・ご面会などの時には、寛げるように環境を整えている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・寛ぎスペースでの席は、状況に合わせて見直しをしている。 ・皆で過ごす際には、関係を考慮し、スタッフが間に入りながら、良い時間となるように取り組んでいる。 ・皆の前で「ありがとう」と感謝の気持ちを伝える機会を持っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・長期入院で退去したり、亡くなったりした利用者様のご家族様と交流があり、花にお茶を飲みに来たり、ウエスなどを寄贈していただいたりするなど、とても良い関係を保っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・まずは、ご本人の希望・意向については、耳を傾け聴く姿勢を大切にしている。 ・困難な場合、スタッフ間でどうしたらできるかを話し合う場をもっている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・これまでの暮らし、経験などを把握しコミュニケーション時に充分活かせるように、取り組んでいる。 ・これまでの暮らしを把握することで、BPSDなどの対応に活かせる様に努力している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・ご本人のお話しする内容や、ご家族様からの情報を得て、今の現状が把握できるように努力している。 ・日常の様子を申し送りの中で、話題にあげながら情報を共有し対応できるように取り組んでいる。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・毎日の申し送りの機会に、気になる点については話題にしている。 ・毎月の会議の中でも、全入居者様の支援計画について評価している。 ・ご家族様にも、気になる点などのご意見をお聞きしながら取り組んでいる。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・介護計画を基に、実践し記録できるように取り組んでいるが、普段の生活のエピソードや、気づきにつながりにくい。又、今以上にケアプランの実践や記録に反映できると思う。 ・今現在の重要な観察項目が提示され、記録に反映できている。 ・日々の出来事は、申し送り・会議で話題にあげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・旬の行事を数多く行い、外出する機会も取り入れる。 ・入居者様の身体能力や認知能力に合わせて、料理、洗濯、掃除、買い物などをスタッフと共に行っている。 ・ボランティアや地域資源を生かした取り組みに努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・近所の商店に買い物に行ったり、近くの神社や公園を利用して楽しみを広げるよう努めている。 ・地域のお祭りに積極的に参加して入居者様スタッフ共に楽しんでいる。 ・困った事があれば、地域の民生委員、地区社協、地域包括支援センター、町内会の方々に気軽に相談している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・ご家族様と話し合い、協力をし合えるように努力をしている。 ・馴染のある医療機関への継続的受診が出来るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・体調においては、些細な変化も報告し相談している。 ・可能な限り、早期発見、早期治療につなげられる様に取り組み、受診も適切に行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院時には、現状と退院までの期間の情報を得た上で、早期退院について医師とホームの意向を伝えている。 ・入院期間中、訪問や電話で日々の様子について病院関係者と情報の共有に努力をしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・入居契約時に、終末期について家族と話し合っている。 ・終末期について、主治医、施設長を交えて話し合いの場を持ち、ご家族の意向確認を行っている。 ・ご家族様には、日々の状態を十分に報告しながら、その時その時の状態の変化をにに合わせて、終末期に向けた話しを重ねている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故についてのマニュアルがあり、実践されている。 ・内部勉強会の実施や外部の研修参加など、実践力が付くように取り組んでいる。 ・その時の機会には、振り返りをして次回に備えられる様になっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・日中想定避難訓練を春秋一度づつ行い、地域の方にも参加していただいている。またこのとき消防設備業者に来ていただき、設備点検と職員に対しての設備仕様説明を行い、勤務者全員が火災報知機の作動させたり、消火器による消火訓練を行っている。 ・夜間想定火災避難訓練を何度も行い、全ての職員が夜間対応の訓練を行っている。		

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・言葉遣いには、気を配り対応できるように取り組んでいる。 ・入浴、排泄支援においては、当たり前の配慮が当たり前出来るよう努力している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・声掛けする際には、「～しても良いですか?」や「～しませんか?」とイエス・ノーで答えられるようにしている。 ・選択肢を提示しながら、声掛けしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・可能な限り、無理強いせずその人のペースに合わせてる様に取り組んでいる。また、そのペースに合わせてることによって生じる問題を、臨機応変に検討し対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・お部屋から出る際には、鏡を見てヘアスタイルを整えられるような機会を持っている。 ・好みの衣服、今までの習慣を大切に支援している。 ・行事の時、外出の時には、お化粧する機会を持っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・入居者様は、食事作りや食事前のおしぼりの準備など談笑しながら作業をスタッフと一緒にしている。 ・キッチンがリビングに接続しており、臭いや雰囲気伝わり、楽しみなひと時となっている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・一人一人の食事や水分量は、毎日確認している。 ・外部の栄養士や医師とも相談したりしながら、カロリーや塩分について臨機応変に対応している。 ・問題発生には、早期に対応策を考え支援をしている。 ・一人一人の、食べる力に合わせて、好み、素材、形態、大きさ、など対応をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・一人一人にあったケアグッズを使用している。 ・日々口腔内を観察し、トラブル時には早期対応に取り組んでいる。 ・状態によっては、経過を評価している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・トイレでの排泄を基本に取り組んでいる。 ・個々のパターンを掴み、汚れる前に、気持ち良く排泄できるように努力をしている。 ・排泄行為は、自分で出来る力を可能な限り活かせる様に、努力して支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・排便の状況を、毎日把握している。 ・普段の生活の中で、乳製品を使ったドリンクやバナナを提供するなどをして、工夫している。 ・少しでも、身体を動かさず機会を持てるように、取り組んでいる。 ・主治医にも相談を持ちかけ、取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	・入浴は、基本の曜日時間はあるが、その中でもお湯の温度や時間帯、会話など、臨機応変な対応を心掛けている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・体力の状態に合わせて、お昼寝の時間を設けている。また傾眠などの様子に合わせて対応をしている。 ・就寝時間は、個々に合わせて対応をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬内容については、把握することを基本として取り組んでいるが、詳しい内服薬の理解が不十分である。 ・臨時としての処方、内容の変更、新たな処方については、全スタッフが把握できるように、申し送りをしている。更に、副作用や注意事項も含め情報を把握しやすく提示している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・日々の中や定期的に、それぞれに合わせて、楽しみを持ち、過ごせる様に支援している。また、得意な事を活かして役割を持っていただいで達成感や自身の存在感を感じていただいている。 ・行事では、挨拶や優勝旗の授与など主役的な役割を果たしていただき気分の高揚に努めている。また食事やアルコールを飲んで頂ける宴会など、皆さんが楽しんで頂く機会を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・戸外への支援は、可能な限り対応できるように取り組んでいる。また要望に対しても、叶えられる様に話し合いの場を持ち、計画的に支援をしている。 ・地域の行事などにも、希望に合わせて積極的に参加できるように取り組んでいる。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・個々の想いや希望に合わせて、ご家族様と十分な話し合いの場を持ちながら支援をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話や手紙は、その時々々の希望に合わせて支援をしている。 ・毎年馴染の方には、年賀状を出せるように、支援をしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・共有空間にはいつも生花が飾られており、観葉植物なども置き、落ち着いた空間を大切にしている。 ・湿度、温度調整を含め、換気をする時間を設けて実施している。 ・音に関しても、食事中には雑音のないようにしたり、テレビの時間、BGMの時間、を設けている。また、生活音のみにする時間も作っている。 ・スタッフの起こす雑音も(声、足音、戸の開け閉め)などにも、配慮している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・互いの相性を十分に把握して、リビングの座席など居心地の良く過ごせるように配慮している。また、それ以外の共有スペースも個々が大切に感じる場所や物があり、その空間を大切にしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・使い慣れたもの、好みの物をそばに置ける様に、ご家族様と工夫しながら取り組んでいる。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・共有空間には、歩行や視界の妨げとなるものは置かないように工夫をしている。 ・個々の好む場所は、馴染みの場所にもなっており、過ごしやすい場所になるよう支援をしている。 ・居室の中は、本人の安全な移動しやすい環境を考え、家具などを配置している。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム 花

作成日: 平成 27年 3月 19日

【目標達成計画】 Bユニット

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	・内服薬の理解が不十分である。 ・どうして服用しているのか？なぜ処方になったのか？なぜ変更になったのか？なぜ中止になったのか？などが把握できていない。	・一人一人の体調の変化を把握すること ・それに合わせて内服内容を理解すること ・変更があった時には、理由を把握すること ・内服薬の確認時に活かすことができること	・9名個々の服用している種類を調べる ・9名個々の病気を調べる。 ・内服薬の変更があった場合には、その理由と変更内容を把握して行くこと。 ・以上が出来ているかの確認も行うこと(役席)	1年
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。